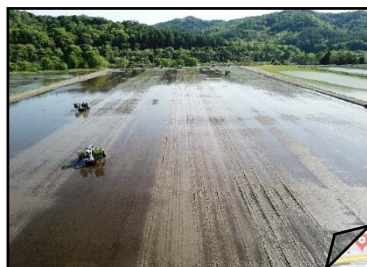


経営体の概要

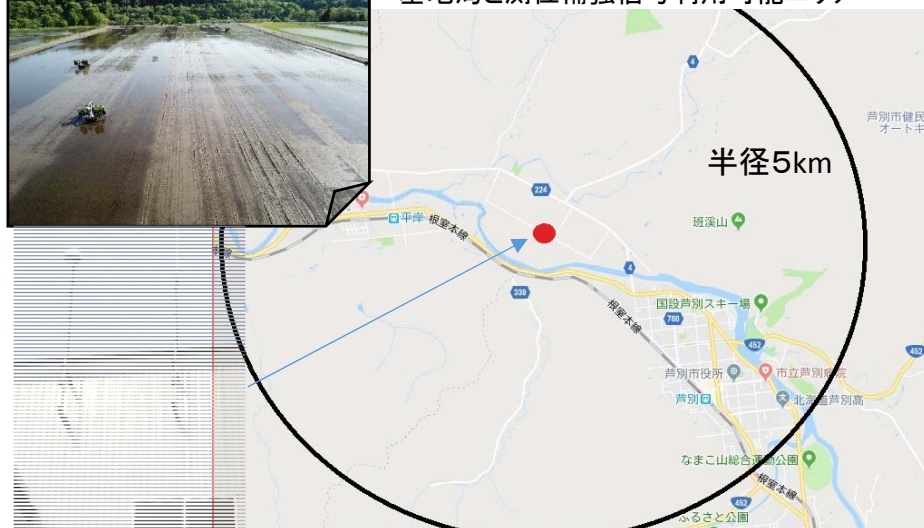
- ・所在地: 北海道芦別市常磐町
- ・経営体名: 常福地区先進農業機械利用組合
- ・栽培作物・作付面積: 水稻 109ha
- ・従業員数: 12名(平成28年現在)

導入技術

- ・RTK-GNSS無線基地局 × 1箇所
- ・GNSS自動操舵田植機(8条) × 2台
- ・既存田植機(8条)用GNSS自動操舵システム × 3台
- ・GNSSガイダンスシステム × 2台
- ・GNSSスタブルカルチ × 1台
- ・GNSSレベラー × 2台
- ・GNSSブロードキャスター × 1台



基地局と測位補強信号利用可能エリア



導入経緯

- ・当該地区では、経営者の高齢化が進んでいることから、農地の利用集積、コストの低減が喫緊の課題となっていた。
- ・コストの低減を図るとともに、地域内農業者からの作業受託の拡大を目的に、平成28年度にGNSSガイダンスシステム等を導入した。

取組の特徴・効果

- RTK-GNSS無線基地局を設置し、GNSSガイダンスシステム等の導入による田植及び施肥の均一散布、圃場の均平化に活用。
- これにより省力化が図られ、特に人手を必要とする田植え時期などに、大きな効果を実感。
※田植え労働力の削減効果: 導入前10名(運転5名、苗補給5名) 導入後5名(運転兼苗補給)
- 今後、ICT化を進め、無線基地局を活用し、ロボットトラクターの導入や水田センサーを使った水管理の省力化を図る予定。
- ICT技術の更なる活用により、「経験」や「勘」に頼りがちな現状の農業から、ビッグデータを基に最適な作業を導き出す農業へ進化させることで、農業未経験者でもオペレーター等として農業分野で就労できる環境づくりに繋げていく予定。
- 地域では、人口減少等による後継者や労働力の不足が継続的な課題であり、このような取組を進めることで、地域での就労機会を増やし、農業の維持・発展を目指していく。